

播磨の昆虫 ウスバカゲロウ分布資料

相坂 耕作

はじめに

ウスバカゲロウは幼虫のアリジゴク（蟻地獄）の成虫ですが、一般には幼虫のほうがよく知られている。その証拠に今も日本全国に方言として残っている昆虫としては横綱級です。反面、成虫のウスバカゲロウは知名度は薄く、北杜夫のどくとるまんぼう昆虫記に薄馬鹿下郎として記されたりして、近年市民権を得たような昆虫である。また、昆虫研究家にもあまり関心がなかったのか、文献等も大変少ない。ましてや播磨地方には、なおさら叩き台もないようなありさまである。筆者もあまり関心もなく積極的に採集調査したこともありません。そこで少ないながら標本箱から埋もれているウスバカゲロウをこの度整理したので古い記録ではあるが、播磨の昆虫ウスバカゲロウの仮目録として記しておく。尚、調べているうち兵庫県には記録がない種類もあり、再度力をいれて薄馬鹿になったつもりでウスバカゲロウなど雑昆虫にも取り組みたい。

播磨のウスバカゲロウの分布について

播磨地方で筆者が採集したウスバカゲロウは次の8種類である。ちなみに

- ① ウスバカゲロウ *Hagenomyia nicans*
- ② コウスバカゲロウ *Myrmeleon fornicarius*
- ③ モイワウスバカゲロウ *Epacanthaclisis moiwana*
- ④ オオウスバカゲロウ *Heoclisis japonica*
- ⑤ コマダラウスバカゲロウ *Dendroleon jezoensis*
- ⑥ ホシウスバカゲロウ *Glenuroides japonicus*
- ⑦ ヒメウスバカゲロウ *Pseudofornicaleo jacobsoni*
- ⑧ カスリウスバカゲロウ *Distoleon nigricans*

文献上、播磨地方では高砂（市？）にて次の種類が記録されている。

- ⑨ コセコウスバカゲロウ *Crocus bore*

この他、近畿地方にはあと2種類のウスバカゲロウが記録されている。これらの種類も播磨地方に分布可能であり、今後の調査により採集される可能性のある種類としてあげておく。

- ・ マダラウスバカゲロウ *Dendroleon pupillaris*
- ・ コカスリウスバカゲロウ *Distoleon contubernslis*

- ① ウスバカゲロウ *Hagenoyia micans*
 《採集例》 23-VII-1978 姫路市南畝町
 02-VIII-1981 宍粟郡波賀町引原
- ② コウスバカゲロウ *Myrmeleno formicarius*
 《採集例》 02-VIII-1980 飾磨郡夢前町山ノ内雪彦山
- ③ モイワカゲロウ *Epacanthaclisis moiwana*
 《採集例》 27-VII-1987 宍粟郡安富町関
 20-VIII-1988 宍粟郡波賀町引原
- ④ オオウスバカゲロウ *Heoclisis japonica*
 《採集例》 02-X-1986 姫路市的形
 20-VIII-1988 宍粟郡波賀町引原
- ⑤ コマダラウスバカゲロウ *Dendroleon jezoensis*
 《採集例》 11-IX-1981 宍粟郡波賀町引原
 30-VIII-1984 "
- ⑥ ホシウスバカゲロウ *Glenuroides japonicus*
 《採集例》 01-IX-1979 宍粟郡波賀町引原
- ⑦ ヒメウスバカゲロウ *Pseudoformicaleo jacobsoni*
 《採集例》 05-VII-1987 姫路市広畑区京見山
- ⑧ カスリウスバカゲロウ *Distoelen nigricans*
 《採集例》 12-VIII-1966 宍粟郡山崎町